

自民党こまつ



深田博智 委員



動画でチェック

◆小松運動公園テニスコート等整備費

Q 既存設備の課題についてどう考えるのか。

A 利用団体からの声を受け、老朽化したネットの更新を予定しているほか、選手の皆さんが競技に集中できるよう、施設の維持管理についても万全を期したい。

Q 今後、利用者からの声をどのように取り入れていくのか。

A これまでも安全・安心な施設として利用していただけよう、テニス協会やソフトテニス協会をはじめ、利用者の要望等を踏まえて施設の機能向上に取り組んできた。今回の整備についても、競技団体や大会主催者等からのコート増設を求める声に応える形で整備を進めるものである。今後も引き続き、競技団体等との協議を重ね、利用者目線に立った施設整備に努めていきたい。



吉村範明 委員



動画でチェック

◆部活動地域展開推進費

Q 予算の内訳と増額理由は。

A 本予算は、消耗品、指導者への謝金、会場使用料、保険料等、地域クラブ活動に必要な経費を積み上げて予算計上したもの。活動するクラブ数の増加等により予算は増えており、令和7年秋以降の土日・祝日の部活動地域展開開始に伴い、受皿となるクラブ数の増加や、令和8年度予算においては、さらに受皿となるクラブ数の増加と、秋から予定している文化部の地域展開実施を見込んでいるため。

Q 地域性を含めた地域展開の考え方は。

A 全ての生徒が等しく希望する競技を楽しむことができる機会を提供することが地域展開の目的の一つである。通常は近隣地域のクラブに参加することになると思われるが、状況に応じて別の地域のクラブに所属することも可能である。

Q 今後の展開は。

A 平日の地域展開について各種目別競技協会や受皿となっている地域クラブと協議を行い、文化部についても、令和8年秋の土日・祝日の地域展開の実施に向けて取組を進めている。

Q 移動手段の考え方は。

A 今後、文部科学省のガイドラインに示されている関連部署との連携などについて検討を進めたい。

◆公共ライドシェア運行費

Q 詳細は別議員の質問から確認できた。部活動地域展開に係る移動について最良手段は。

A 路線バスやコミュニティバス、乗合ライドシェア等公共交通と共助版ライドシェアなどのボランティア輸送を組み合わせる移動することが望ましいと考える。検討が進み、具体的な方法を検討する段階になれば、ご相談いただき、市としてもしっかりと対応していきたい。

無 会 派



木下裕介 委員



動画でチェック

◆介護人材確保・職場環境改善支援費

Q 今回創設された介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格取得支援補助金制度の目的は。

A ケアマネ等の資格取得を支援することにより、介護人材の確保と介護サービスの安定供給を図る。

Q 今回の資格取得支援に加え、今後はケアマネの定着支援として更新研修費用への支援も必要と考えるが見解は。

A ケアマネの高齢化と成り手不足を踏まえ、まずは成り手を増やすための「入口支援」を重視し、更新費用への支援は考えていない。国は2027年度改正に向け、更新制度の廃止を検討している。



片山瞬次郎 委員



動画でチェック

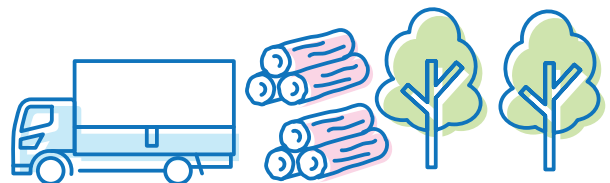
◆市行造林費

Q 市行造林が直面する課題は。

A 事業規模は、93団地576ヘクタールであり、令和9年には、造林開始から50年間の契約期間満了を順次迎える。相続手続が未了の団地や、伐採後の再造林に係る費用を差し引いた収支の採算が見込めない団地が出てくるのが想定される。

Q 経営に適さない造林団地とは。

A 土地の傾斜が急過ぎて、主伐等の作業効率が極端に低下する団地や、アクセスが悪く、木材の運搬作業コストが上昇する団地などでは、収支の採算が取れないと考えられる。





橋本米子 委員



動画でチェック

◆未来型図書館等複合施設整備費及び未来型図書館づくり推進費

Q 1年目の整備内容及び推進費の業務内容は。

A 整備費については、基本設計や実施設計費の一部、モニタリング業務等である。推進費は、事業者選定や契約等の手続きに係る業務費を計上。

◆こども誰でも通園制度費

Q 利用見込児童数や受入れ体制、利用料について。

A 令和8年度は約40人程度と予測。実施希望園の空き定員での受入れを予定しており、クラス担当の保育士が在園児と合同で保育を行う。利用料は、各事業者が決定する。

令和7年度3月補正予算

小松志士の会



宮西健吉 委員



動画でチェック

◆芸術劇場大規模改修費

Q 平成16年にオープンした施設の概要、目的は。

A 歌舞伎等に対応できる大ホールをはじめ、小ホール、催事場等を備えている。優れた芸術、文化を享受できる機会や活動の発表の場を提供し、活力あるまちづくりに資することを目的に設置。

Q 今回の大規模改修の内容について。

A 基幹設備を計画的に更新し、施設の長寿命化を図る。舞台照明や音響設備については、デジタル機器に全面更新し、表現の高度化、多様化につなげる。また、客席は前後で交互に配置する千鳥配置を採用し、観光物産案内所跡には、可動式パネルで空間を仕切れるギャラリー兼会議室を新設。

Q 演じる側、観る側の意見に十分に対応しているのか。

A 来場者アンケートや、主催者からの意見が直接届く指定管理者からの要望を踏まえている。

Q 工事期間中、市民センターやサイエンスヒルズで対応できるのか。

A 休館時期は、利用者が最も多い秋期を避けた設定とした。代替施設として、市内及び近隣自治体の施設を案内している。

Q 22億4,000万円余を投資する中で市長の思いは。

A 小松市の文化拠点としての価値を次世代水準へ引き上げていくための未来の投資として位置づけている。



木村賢治 委員



動画でチェック

◆通学路整備費

Q 通学路整備費が約74%も減額される理由は。

A 国の防災安全交付金の内示額に合わせて、市の予算を減額した。

Q 国の交付金を前提とすると不安定さを覚えるが。

A 路線の必要性や重要性を示し要望しており、今後も交付金の要望額確保に努める。

Q 通学路予算を優先的に支出する考えはあるか。

A 通学路整備費は別途予算費目として設定しており、重要な予算。交付金は様々な道路整備を対象にしており、通学路整備を含め交付金確保に努める。

Q 実施予定、実施中、年度繰越しのものは。

A 当初11路線を予定していたが、内示額の減により7路線を整備。残りは令和6年度繰越予算の余剰分などで対応し、進捗に大きな遅れはない。

Q 事業継続中のものへの影響は。中止は。

A 一部未着手箇所は令和8年度の対策箇所として整備を進める。未整備のまま中止することはない。

Q 緊急性のある箇所への対応は。

A 緊急性を要する場合は、通学路整備とは別に道路管理者として早急に修繕対応する。

Q 通学路安全プログラムの結果は公表しているか。

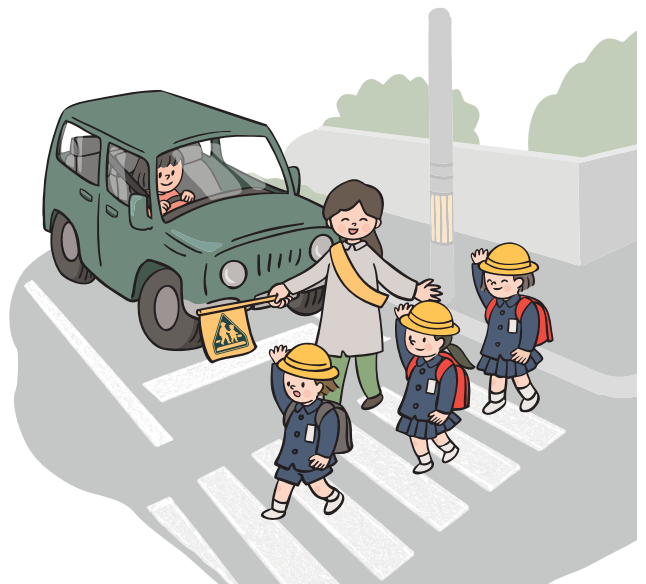
A 市ホームページで実施状況を公開し、危険箇所や対策状況を毎年度公表している。

Q 掲載時期は。

A 毎年度、年度末に掲載している。

Q 通学路は安全と言っているか。

A 絶対安全と言い切れるものではなく、危険を一つ一つ取り除きながら安全確保に努める。



常任委員会 審査報告

予算決算常任委員会

議案第2号 令和8年度小松市一般会計予算について

■総務管理費寄附金（702,000千円）

ふるさとこまつ応援寄附金としての歳入であり、内訳は、個人版7億円、企業版200万円です。個人版については、Komatsu9プロジェクトに掲げる、ふるさと納税10億円達成に向けた二年目の金額として、計上しているとのこと。

今年度のふるさと納税額は、前年度と比べて横ばいの見込みとのことですが、近隣自治体では、前年度比20%増を達成している事例もあり、実施の在り方や返礼品等によっては、本市も金額を伸ばすことができる可能性があるため、他の自治体も参考にしながら、戦略の練り直しを図る必要があるのではないかと意見がありました。

■職員人件費について

正規職員及び会計年度任用職員にかかる人件費であり、令和7年の人事院勧告による給与及び期末・勤勉手当の増額等により、昨年度と比べて全体的に増額となっているとのこと。

土木及び建築の技術職については、今年度、採用予定人数に達していないことから、年齢構成のバランスが偏らないよう、計画的な人材確保に努めてほしいとの意見がありました。

また、令和7年5月から採用しているCMOについては、次年度は評価が問われる年であるとの意見がありました。

■結婚支援費（14,000千円）

若者の結婚サポートを支援するため、婚活相談などの結婚サポート支援や、若年世帯の定住を促進するための新婚住まい応援金に係る費用です。

セミナーの回数を更に増やしたり、高騰している住宅建築費を引き続き支援することで、小松市での結婚、定住を促進してほしいとの意見がありました。

■総務管理費雑入のうち、パスカード発行収入（17,000千円）

らく賃パスポートの発行による収入です。

一部の委員からは、料金の引き上げが検討されていることに対し、路線バスは高齢者や学生の方にとって大切な足であるので、引き上げをすべきではないという意見がありました。

■マイナンバーカード等普及促進費（38,312千円）

マイナンバーカードの交付や管理に係る費用です。

本市のマイナンバーカード取得率は80%を超え、既に広く普及していることから、今後は普及促進よりも保有者に対する市民サービスの向上に軸足を移し、事業

名称も見直すべきではないかとの意見がありました。

■発達支援費（2,749千円）

発達支援センター「えぶりい」の運営に要する費用です。5歳児健康診査を踏まえた年長・年中児を対象とした小集団指導教室の取組は、集団生活への適応や、保護者が子供の特性に対する理解を深める良い機会でもあることから、費用増額を含め積極的に進めてほしいとの意見がありました。

■自立支援給付費（2,880,316千円）

障がい福祉サービスや補装具の給付、自立支援医療の給付に係る費用です。

そのうち就労支援に関して、A型事業所から一般就労へ移行する際の雇用契約については、障がい者の方に寄り添った柔軟な契約内容となるよう、市がハローワーク等関係機関と協議してほしいとの意見がありました。

■小学校校舎等改修費（632,584千円） 及び中学校校舎等改修費（52,388千円）

校舎の空調復旧工事や照明LED化実施設計、トイレ改修工事等の費用です。

なお、小中学校の体育館の空調設置については、令和8年度以降に策定予定の学校配置最適化の個別計画とも整合性を図りながら、今後設置を検討していくとのこと。避難所としての機能も有していることから、計画的に整備を進めていくよう求める意見がありました。

■学校体育・健康教育推進費（25,650千円）

児童・生徒の体力向上・スポーツ振興に係る費用です。今年度から開始した小学校の水泳授業の外部委託については、令和8年度には実施校を3校増やし、9校で実施予定とのこと。今後、実施校の増加に伴い、移動手段となるバスの確保や、施設における指導員の確保といった課題も想定されますが、せっかく充実してきた水泳授業を廃止することがないよう、長期的な観点で事業を進めていくよう求める意見がありました。

■部活動地域展開推進費（37,832千円）

中学校部活動の地域クラブ活動展開における外部指導者の謝金等の費用です。

部活動の地域展開が進み、従来の学校を中心とした活動形態が変化する中で、部活動に参加しない生徒の増加が懸念されることから、今後、部活動を通じて行われてきた生徒指導の部分をどのように代替していくかを検討する必要があるとの意見がありました。

■栗津駅周辺整備費（231,000千円）

自由通路や駅西広場の整備による駅東西のアクセス強化、駅東側の交差点のラウンドアバウト、駅施設の2方向利用など、栗津駅周辺の活性化や利便性向上に向

けた整備に係る費用です。令和8年度は、自由通路の建設に向けた準備のため、駅西側の樹木伐採や整地を行い、令和9年度から自由通路、駅西広場の工事に着手し、令和11年度に完成予定とのことです。

■自転車駐車場管理費（12,354千円）

小松駅・明峰駅・粟津駅の駐輪場における自転車の整理や、監視カメラの設置等に係る費用です。監視カメラは3駅で合計22台設置されており、経費は580万8千円とのことです。監視カメラ設置の主な目的は、犯罪の抑止であり、自転車の盗難があった際の確認にも用いるとのことです。

夜間は駐輪場が暗く、部活や塾で帰宅が遅い子供にとって危険であるとの声が市民から寄せられていることから、監視カメラの設置をアピールすることで、治安を保つためにも有効に活用してほしいとの意見がありました。

■通学路整備費（30,500千円）

通学路交通安全プログラムに基づき、歩道や側溝の改築、路面標示や防護柵といった安全施設の設置など、通学路の安全対策工事を行うものです。

児童の安全確保につながることであり、今後も進めてほしいとの意見がありました。

議案第11号 令和7年度小松市一般会計補正予算（第7号）について

■芸術劇場大規模改修費（400,000千円）

施設の長寿命化及び機能向上のため、令和8年12月から令和9年7月にかけて、大規模改修工事を行うものであり、全体経費は、22億4,257万円の見込みです。

歌舞伎の舞台としてだけでなく、公会堂解体に伴う音楽団体からの需要もあることから、音響設備についても、十分検討してほしいとの意見がありました。

総務企画常任委員会

■議案第22号 小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国民健康保険税の将来的な県内完全統一や、適正な国保運営の維持、継続等を目的に、税率の改正を行うものです。また、子ども子育て支援法の改正に伴い、「子ども・子育て支援納付金」を課税区分に新たに定めるものです。

一部の委員からは、保険税の値上げや子ども・子育て支援納付金課税額の追加に対し、反対する意見がありました。

■石川県知事選挙について

3月8日執行の石川県知事選挙について、主な取組や投票の状況等の報告があり、小松市内における投票率は53.05%であったとのことです。

当日投票所の変更を行ったことによる影響の有無について、今後、投票所ごとの投票率の分析を進めてほし

いとの意見がありました。

また、郵便等による不在者投票について、手続きを簡素化できるよう、国に働きかけてほしいとの意見がありました。

■第4回小松空港ターミナルビル基本構想検討会議について

昨年度、小松空港の在り方を示す小松空港中期ビジョンが策定されたことを受け、今年度は小松空港ターミナルビルの基本構想を取りまとめることとなっており、第4回の会議では、基本構想の最終案についての検討が行われたとのことです。

今般、知事の交代もあることから、ターミナルビルの整備及び防災庁の誘致については、空港所在市である小松市が声を大にして、確実に遂行できるよう県へ訴えてほしいとの意見がありました。

福祉文教常任委員会

■小松市学校規模及び配置最適化基本方針（案）に係るパブリックコメント実施について

小松市学校規模及び配置最適化基本方針（案）について、広く市民等の意見を聴取し、方針策定の参考とするため、パブリックコメント手続きを実施するものです。

パブリックコメントの実施方法については、これまで重要施策のパブリックコメントについても集まってくる意見が多くないことから、教育委員会に限らず、市全体として、より広く市民から意見をいただける仕組みづくりを進めることが望まれるとの意見がありました。

■移動図書館車「みどり号」さよならセレモニー等について

昭和60年から40年にわたり、小学校や各施設を巡回してきた移動図書館車「みどり号」の運行を終了することに伴い、最終巡回先となる国府小学校において、さよならセレモニーを実施するものです。

車両の老朽化や利用者数の減少に加え、市立図書館の蔵書を児童生徒の希望に応じそれぞれの学校に配送する体制が整備されていることなどから、廃止に至ったものです。

■小松市民病院建設基本計画について

令和14年度中の事業完了を目指して整備が進められている新病院について、担うべき機能や規模、施設・設備等を具体化するための諸条件を、整理・取りまとめた「小松市民病院建設基本計画」の概要が示されたものです。

急性期拠点機能を担う南加賀の拠点病院として、南加賀3市が相互に協力し、連携の在り方について協議を重ねながら、南加賀の医療体制を着実に維持していくよう進めてほしいとの意見がありました。